

‘お κόσμος, ἀλλοίωσις. ο βίος, ὑπόληψις.’

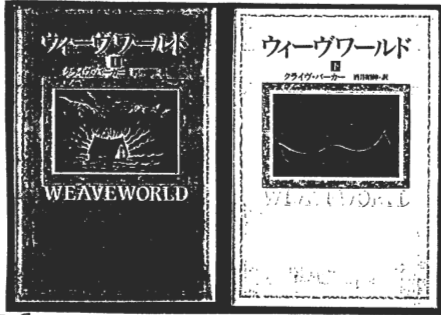
24号 1991.2.13

文・編集・発行
恋 怪子

BOOK: 『ウィーヴワールド』 クライヴ・バーカー 著 (集英社)

LIVE: ティラノザウルス 1991.1.15 渋谷ラ・ママ

愛の一部は純粋。
愛の一部は罪。
愛の一部はミル。
こぼれるとちまろ画装つくなる。
愛の一部は感傷。
愛の一部は歎情。
愛の一部は予感。
土くれにもとる前角刈れ。



上下巻ともに¥2,200

「きみはその詩人を知っていたのかな？」
「いいえ、ぼくが生まれる前に死んでいました」
「いまなおそのことばでわれわれをなごませ、感動させるような人物が、
どうして死んだといえるだろう？」
「そのとうりですな、ほんとうに」
「ほんとうだとも、こんな晩に喉もついてなんになる？」
(上巻 P.249)

「わたしの名刺だ、受けとってもらいたい」
A.V.ブラックと名刺にはあり、バーミンガムの住所の下には、赤いインクで、
こう印刷されていた。
「いま証明されている事実も、かつては空想だった」
「だれの引用ですか？」
「ウィリアム・ブレイクだよ」とブラック。「天国と地獄の結婚」からだ。…
(上巻 P.322)

そして、キーワードは“想像されたものは決して失われることがない”。つれ、
ユリン・ウィルソンの用語「夢見るカ」が「ぼくらの魔法。造り手たるバーカーと
鑑賞者たる読者は、『ウィーヴワールド』というテキストを介して魔法＝夢
見るカを花開かせ、日常生活の中につれの刺に侵入して人々を無気力に
あるいは狂気に陥れてくる虚無へと対等する力を得ることが出来る
のだ。要するに、本書は癒しのカと希望に満ちた希有なファンタジーの
ひとつなのである。」(『ウィーヴワールド』解説より)

「物語の起源、などというものはありえない」という最初の一行でゾクッと
来て、一気に読みおえた。読みはじめて、しばらくして「物語の失を詠む、
ことを放棄した。物語の後をついていくのが「精一杯で…」
上記の解説に書いてある「癒しのカと希望に満ちた希有なファンタジー」
というのは、ほんとうです。



クライヴ・バーカー
1952年、リヴァプールに生まれる。
ジョン・レノンの同窓生。リヴァ
プール大学哲学科卒業。
ポッシュやゴヤなどのヨーロッパ
幻想絵画及び「サイコ」「ナイト・
オブ・ザ・リビング・デッド」「13
日の金曜日」などのホラー映画に
影響をうけ、のちに、「闇の展覧会」
を読んでホラー小説の可能性に開
眼、18カ月で「血の本」全6巻23
編を書きあげた。

WORDS: マルグリット・デュラス

出た時の勝負の言葉。それは、わたしの体と、わたしを滅ぼすために
存在している社会全体とを突き合わせているようなものだった。
歌手や俳優は、観客とのあいだで、これと同じ勝負を経験して、
のちに違いない。歌やセリふを聞くために金を払ってくれる人たちは、
敵であり生きてゆくためには彼らを「しとめ」なければならぬのだ。
言葉を支配し、観客を熱狂させることが一度うまくゆけば、その後も
ずっとそうしてくれる。舞台を見るためにわざわざ来てくれた人たちに
失望させないことも義務と心得るべきだと主張する人がある。だが
実はそれだけのことでなく、自分を裁きにくる者の殺害迂回作戦
に近いところもあるのだ。
愛と死、そして生活、より



PHOTO BY MOKU

演奏もちゃんとしているのにな。ヴォーカルのいいいけのにな。なんかが
足りない。いつも心にひびいてくるキーボードもなんかちがう…。
演奏感がなくって重苦しい。心がちっともわきたない。新しいブルースも
やったというのに…。だけど、ヴォーカルの人が簡単な語りもはじめて、
ギターの音がきこえたのとたんにかが波立ち、歌にまぎれられた。このあと
だんだん心が演奏にのっていった。「舌を出せ」よかった！楽しいGET
IT ONでライブがかわった。この日のティラノザウルスは目走りがなごくて
おわりの方でとびつた、という感じ。

ティラノザウルスのライブ予定:
毎月15日 渋谷ラ・ママ(ワンマン)
2/26 吉祥寺バウンス・ブロー(イベント)

LIVE: THE MODERN TIMES 1991.1.18 浦和カメオ

「偽りの平和よりも動乱を」というタイトルをきいたとたん、そんなに簡単
に言っちゃダメだよ、他人のことばじゃなくて、自分のことばで自分の
心で歌わなくちゃダメだよ、って思いがわきあがってきた。戦闘開始、
という歌の中に「アメリカ帝国主義、ソビエト帝国主義、イスラム帝国主義、
日本帝国主義…」というところがあった。こういう歌を歌うなと言う
のではない。歌ってほしいと思う。だけど、テレビやラジオや新聞から
知ったことをもとにして歌うんだったら、それは人間が歌う歌じゃ
ない。状況に助けられなきゃ歌えなくなるのだから。

LIVE: 'Aロインロッカーズ' 1991.1.18 浦和ナリシス

ドラムの人がないとのことで、ヴォーカルの人がドラム、ギターの人がヴォーカル
兼ギター、あとベースという三人編成で、Aロインロッカーズの曲じゃなくて
ロカビリーをやった。楽しかった！ギターが「ジャンジャン」鳴りひびいて、
歌もいい！Aロインロッカーズのギターの人には前はBURST HEADという
パンクバンドのヴォーカルだったんだけど、BURST HEADをきいて、
とくもすごいと思ってたけど、この日にギターと歌をきいて、やっぱり
あんまりにすごかったわけだ。とBURST HEADを再認識させられた。
歌のあいまに「世界は平和だよ」といったのが強心に響いている。

LIVE: THE BLANKEY JET CITY 1991.1.24

メンバーがステージに出てくると「キャー」「キャー」と歌聲があがり、演奏か
はじまった。THE BLANKEY JET CITYをきくのも見るのも、この日が
全くはじめてで、結構楽しみにしていたし、かなり緊張してまきまき
めた。ヴォーカルの声をきいたとたん「えっ?」。なんかもっといい曲、
演奏はうまい。たしかにうまい。だけど「だからなんだろう?」
っていう思いがして紅方がない。4曲目くらいでうしろの方へ下ろ
すみにすわってしまう。毒も華もなく、なんか優等生のロックンロー
ルって感じ。歌から感じられる世界が浅い。一曲だけ「冬のセーター」
というのにはひびいてくるものがあった。それ以外は、うまく作ら
れたものにはしか思えないロックンロールだった。

LIVE: RIP VAN WINK 1991.1.25 渋谷ラ・ママ

RIP VAN WINKってどんな音楽やてるの?
ってきかれて、うまくいえない。113万人
世界があって、それがどうやっていくのか
わからない。それが魅力ですね。

LIVE: COBRA 1991.1.13 浦和カメオ
ギターがよかった！それとベースも、
ヴォーカルがうまいの、カメオのライブも、
ヴォーカルの人がドラム、ギターの人がヴォーカル
兼ギター、あとベースという三人編成で、Aロインロッカーズの曲じゃなくて
ロカビリーをやった。楽しかった！ギターが「ジャンジャン」鳴りひびいて、
歌もいい！Aロインロッカーズのギターの人には前はBURST HEADという
パンクバンドのヴォーカルだったんだけど、BURST HEADをきいて、
とくもすごいと思ってたけど、この日にギターと歌をきいて、やっぱり
あんまりにすごかったわけだ。とBURST HEADを再認識させられた。
歌のあいまに「世界は平和だよ」といったのが強心に響いている。



RIP VAN WINKのライブ予定:
2/26 渋谷ラ・ママ
3/16 渋谷ラ・ママ
3/30 吉祥寺バウンス・ブロー